

令和4年度有老協施設長研修（後期日程）カリキュラム

	時間	内容
12月5日（月）	13:00	第10講「入居契約の理解」 【講師】松本 光紀（公益社団法人全国有料老人ホーム協会 事業推進部長）
	-14:30	<ねらい>入居契約について、有料老人ホーム設置運営指導指針の要求、入居者保護、不適切条項の排除等、令和元年改正の「協会・標準入居契約書」に基づいて学ぶ。
	14:40	第11講「施設運営リスクの理解」 【講師】加藤 伸一氏（一般財団法人長寿会 理事長）
12月6日（火）	-16:10	<ねらい>ホーム内事故の予防策や発生時の対応、また財務・運営・経営上のリスクの具体的なマネジメント方法を学ぶ。
	16:20	第12講「苦情解決への取り組み」 【講師】千名 友貴氏（株式会社話し方教育センター 代表取締役）
	-17:50	<ねらい>入居者や家族から寄せられる苦情について、ホームでの発生傾向を踏まえ、組織的な対応方法や、個別対応技術、解決困難事例への対応等について学ぶ。
12月6日（火）	10:30-12:00	第13講「有料老人ホーム自然災害BCPについて」 【講師】安田 純子氏 (PwCコンサルティング合同会社 公共事業部 シニアマネージャー)
		<ねらい>有料老人ホームで策定が義務付けられた業務継続計画（BCP）について、有老協モデルを用いて具体的な作成方法を学ぶ。
	12:00-13:00	昼休憩
	13:00	第14講「職員意識の理解と人材管理Ⅰ」 【講師】丸山 法子氏（一般社団法人リゾン地域福祉研究所 代表理事）
	-14:30	<ねらい>多様な職種・職員で構成する職場環境を適切に管理するために必要な、ES調査やキャリアパス等を含む人材管理について学び、実践力を高める。
14:40	第15講「職員意識の理解と人材管理Ⅱ（グループワーク）」 【講師】丸山 法子氏（一般社団法人リゾン地域福祉研究所 代表理事）	
16:20～	交流会（ZOOM内で30分程度グループに分かれて実施）	
12月7日（水）	9:00	第16講「入居者虐待・身体拘束廃止への取り組み」 【講師】綿 祐二氏（日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科教授）
	-10:30	<ねらい>入居者虐待や身体拘束を防止するために必要な、職員および日常業務上の具体的なマネジメント方法を学ぶ。
	10:40	第17講「職員トラブルへの対応」 【講師】吉田 肇（株式会社マザアス 代表取締役 公益社団法人全国有料老人ホーム協会 理事）
	-12:10	<ねらい>日常的に発生する各業務部門内のトラブルや職員間のトラブルを理解し、施設長として取り組むべき内容について学ぶ。
12:10-13:10	昼休憩	
13:10	第18講「セルフ・マネジメント」 【講師】井戸 和宏氏（株式会社I D O 代表取締役）	
-14:40	<ねらい>施設長が自身で抱えるストレス等にどう向き合い対応していくべきか、メンタルヘルス、ストレスマネジメントなど具体的な方法を学ぶ。	